

令和5年度 別府大学短期大学部 学長諮問会議 議事録

日時：令和5年8月26日（土）

13：00～15：00（15：45終了）

場所：1号館2階21・22教室

記録：山田竜大（教務課）

学長諮問会議委員：西 謙二 委員（別府商工会議所 会頭）
森田 展弘 委員（大分みらい信用金庫 理事長）
大津 康司 委員（大分県私立幼稚園連合会 副会長）
神田 寿恵 委員（大分県保育連合会 理事）
田中 正樹 委員（大分県認定こども園連合会 事務局長）
緒方 雅子 委員（大分県栄養士会 会長）
時松 哲也 委員（別府市教育委員会 学校教育課 参事）
梶取 隆之 委員（大分市子どもすこやか部 保育・幼児教育課 課長）
久保田 圭二 委員（大分県立大分上野丘高等学校 校長）

学内出席者：友永 植（別府大学短期大学部 学長）
後藤 善友（副学長／学長補佐 教務担当）
高橋 俊二（学長補佐 学生担当・専攻科長）
伊藤 京子（食物栄養科 教授）
藤田 光子（初等教育科 学科長）
伊藤 昭博（就職委員会 委員長）
三宮 知恭（FD委員会 委員長）
宇野 世史也（大学事務局長）
安倍 武司（短大事務局長）
室谷 征一郎（教務課長）
友永 絵美（教務課 課長補佐）
佐藤 美己子（教務課 課長補佐）
山田 竜大（教務課 主任）

計22名

（13：00）

冒頭に安倍短大事務局長より開催の挨拶ならびに配布資料の説明があった。また、学長諮問会議委員と学内出席者の紹介があった。

次いで本会議の開催趣旨について、「本学の人材養成が、地域・社会の要請に応えているかについて諸関係機関（代表委員）の意見を聴取し、教育課程及び学生支援等の在り方を検証することで、今後の改善に活かしていきたい」と説明があった。

(進行：友永学長)

友永学長から挨拶があった後、本会議は、(1)～(11)までの議題を本学教員が説明した後、学長諮問会議委員(以下委員)からの意見・評価等をいただく形式で進行すると説明があった。

議題(諮問事項)

(1) 令和4年度学長諮問会議報告について

安倍短大事務局長より、資料1【令和4年度学長諮問会議議事録】に基づいて、昨年度の学長諮問会議において委員よりいただいた意見・評価等について報告があった。

(2) 令和5年度事業計画について

友永学長より、資料2【令和5年度事業計画】に基づいて、第3期中期計画は、2022年(令和4年)～2026年(令和8年)の5カ年の計画で、今年度が2年目であること、大項目である「1 教育力の強化」「2 学生支援力の強化」「3 就職力の強化」「4 研究力の強化」「5 地域力の強化」「6 募集力の強化」「7 マネジメント力の強化」「8 持続可能な社会への貢献」「9 看護学部の設置準備」の強化策と、それぞれの小項目について報告する旨が説明された。

(3) 令和5年度自己点検評価(令和4年度実績)について

三宮FD委員長より、資料3【令和5年度自己点検評価報告書】に基づいて、令和4年度実績の総合自己評価として全体の96%が計画通りに実施されたこと。令和4年度は原則対面授業を実施。1週間ほど遠隔授業期間を設けて実施した事。また、9つの重点項目における令和4年度の主な取組等について説明があった。

(4) 入学者選抜の妥当性の検証について

後藤副学長より、資料4【2022年度在学生の修学状況と入試制度】に基づいて、各科のアドミッション・ポリシーについて説明があり、アドミッション・ポリシーに基づく、在学生の単位修得状況、退学者・除籍者の状況、留年者の状況について調査・分析し、妥当性を検証した結果の報告があった。

(5) 建学の精神と本学の教育について

友永学長より、本学の建学の精神については、資料5【別府大学「建学の精神」】に基づき、建学の精神「真理はわれらを自由にする」は、「戦争中に自由や真理が抑圧されたが、これからは自由と真理を愛する若者を育てていくことが大切である」という佐藤義詮先生の想いに基づくものであることが説明された。本学の教育については、「学則」の総則に基づき、専門の学芸を教授研究するとともに、高い専門能力と広い教養を身につけ、豊かな人間性を備え、進んで社会に貢献しようとする人材を養成し、もって学術・文化・社会の発展に寄与する事を目的とし、社会貢献・発展に寄与する等の公共性を重んじていることが説明された。そして、このような理念に基づき、3つのポリシーを有機的に関連させるとともに、各種アセスメント結果をもとにPDCAサイクルを回し、教育の質の担保・向上を図っていくとの説明があった。

(6) 本学の教育課程について

後藤副学長より、資料6-1【別府大学短期大学部教育に関する3つのポリシー】資料6-2【別府大学短期大学部カリキュラムマップ】資料6-3【ディプロマサプリメント】に基づいて説明があった。教育の充実・向上に向けて3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の概要について説明があった。この3つのポリシーに基づき、学生の学修成果の達成度評価やアンケートを実施し、それらの結果に基づいてPDCAサイクルを回し、授業改善及び評価基準の見直しを行い、教育の質を担保していること、学生が身につけた学習成果をディプロマ・ポリシー（学位授与の方針・学習成果の目標）の観点から可視化する「ディプロマサプリメント」を作成し実用化していることなどの説明があった。

(7) 本学の学生支援について

高橋学長補佐（学生担当）より、資料7-1【満足度調査報告書（令和3年度実施分）】資料7-2【学生のサークル及び研究会活動】に基づいて、令和3年度に3回目となる満足度調査の実施結果の報告があった。全学生の47%が回答したこと、全ての設問において満足できる回答が多く見受けられたこと、新型コロナウイルス感染症拡大により自身の描く大学生活ができなかったといった意見が多かったことなどが説明された。また、食物栄養科には4つの研究会、初等教育科には11の研究会があるとの説明があった。

(8) 本学の就職について

伊藤就職委員長より、資料8-1【保護者のための就職ガイダンス】、資料8-2【食物栄養科、初等教育科就職ガイダンス】に基づき、令和4年度の就職率は、食物栄養科が97.3%、初等教育科が98.9%と報告があった。就職支援の体制については、キャリア支援センターで専門スタッフによる個別指導、面接指導等の就職活動等の全般にわたる支援を行っていること。学科では「キャリア教育」科目を必修科目として設置し、職業スキルの獲得と社会的自立性を段階的に学んでおり、丁寧な支援を心掛けていること、保護者懇談会を活用して保護者との連携を図るなど、保護者からの協力も得ながら支援を行っていること等の報告があった。また、就職先に対しては、本学の教育に関する「雇用主アンケート」を実施し、雇用主側が求める学生像を把握しキャリア教育に生かしているため、今後ともご協力をいただきたいとの要望が出された。

(9) 地域連携活動について

高橋学長補佐（学生担当）・藤田学科長・伊藤京子先生より、資料9【地域連携・社会貢献資料集】に基づいて説明があった。別府市と連携した専攻科初等教育専攻の教育現場活動「教育マイスター研修」（今年度で19年目）の成果について報告があった。また、市内の幼稚園児及び保育園児を招いて開催した、食物栄養科及び初等教育科合同の「ウインターフェスティバル」（別府ビーコンプラザ）や、食物栄養科の「ととのみそ」を用いた商品開発及び初等教育科の研究会活動についての説明があった。

(10) ICT教育(数理・データサイエンス・AI教育プログラム)について

後藤副学長より、資料10【数理・データサイエンス・AI教育プログラム】に基づいて、プログラムの概要及びICTを取り巻く背景について説明があった。文部科学省では認定制度があり、本学では令和3年度に数理・データサイエンス・AI教育プログラムの「リテラシーレベル」が認定されたこと、今年度から本プログラムの「応用基礎レベル」の認定申請するための準備をしていること、また令和4年度の数理・データサイエンス・AI教育プログラムの実績をまとめた自己点検評価報告書を作成・公開したことなどが説明された。

(11) 看護学部の設置について

友永学長より、資料11【看護学部パンフレット】に基づいて、大分県内の看護師不足、医療の高度化、在宅での介護看護の必要性などを背景に、令和7年度4月に新しい学部「看護学部」設置する予定であることが説明された。教育の内容としては、別府医療センターとの連携や少人数でのシミュレーション教育を特色とし、センターの既存の校舎を利活用するほかに、実習棟と研究棟を兼ねた校舎を新たに建設する予定であり、現在、令和6年3月の設置認可申請に向け、教員の確保やカリキュラムの策定などを計画通りに進めていることが説明された。

(14:30)

<休憩>

(14:35)

友永学長より、これから議題の順序に限らず、委員より意見・評価・要望等を伺いたい旨の説明があった。

(○=委員、●=学内出席者)

○まず本会議の資料作成についての評価があった。学校長としては、生徒と保護者が一番の広告塔だと思っている。その「学生支援」のところでアンケートについてデータをどういうふうに活用するのかが重要になってくるが、保護者へはどのような情報収集をしているのか。また、アンケートの回答率が7、8割ほど欲しいと思うが、そのためにどのような取り組みをされていくのか教えていただきたい。

●保護者への意見の情報収集は取っていません。また、アンケートの回答率については、コロナ禍での実施であったこと、メール連絡により回答指導を行ったことなどが回答率低迷の原因であったと考えています。

●「保護者向けのアンケート」といったものは実施していませんが、「保護者懇談会」の際にアンケートを実施してご意見をいただいています。すべての学生の保護者を対象に調査をすることは、色々と難しい面もあるので今後の検討課題とさせていただきたい。次に回答数については、コロナ禍前は高い回答率でしたが、コロナ禍により減少したと考えています。最後に調査項目の重点化については、本学の特色を活かした内容にするなど、今後、調査項目の見直しを検討したいと

思います。

○地元の教育界に多くの優秀な先生方を配出していただいているので、まずもって感謝申し上げたいと思います。事前に送っていただいた自己点検評価書によると令和4年度実績で小学校教員を20名の合格者を出して6名の臨時講師を送り出していただいているということで、本当にありがたい関係でございます。先ほど高橋先生の教育マイスタープロジェクトのご説明がございましたので、こちらについても少し述べさせていただきます。本年も8名の学生さんがお入れになっていただけるといふことで、本当にありがたく思っております。熱意と情熱のある学生さんが学校現場に入るといふことで、学校現場も大変活性化いたします。また、今なかなか人手が厳しいという状況もありますので、業務支援にも積極的に当たっていただいているという話も聞いておりますので、現場としては本当に助かっているというところでございます。もし大学側の方が非常に良い制度だと思っただけなのであれば、これはまさにWINWINの関係ではないかなと思いますので、引き続きまた発展していくことを本当に切に願っているところでございます。それと事前に送っていただいた事業計画書には、至るところに大学の先生方の教員相互の連携だとか、全教職員かとか教職員の文言がたくさんあって、大学の先生方との横のつながりといふのを大変強く感じます。私自身の大学の先生のイメージがここの存在みたいなイメージがありますので、非常に横のつながりを意識されている大学といふことで、私としては安心感と信頼感を感じたところでございます。本当にたくさんの説明をいただきまして、地元こういう大学があるといふことを誇らしく思うところでございます。

●多くのお褒めの言葉をいただき、また、今後とも教育マイスターにご協力いただけるといふのは大変ありがたいことです。教員の連携につきましては、近年の動向とも関係がありますが、入学してくる学生さんが多様化し、個別の学生指導が教員の重要な仕事になってきています。学生さんはいろんな授業を受講しますので、互いに情報を共有していかないと全体像が見えてこないと考えています。ある意味で義務制や高等学校と同じくらいに学生指導をやっていかなければ、教育が成り立たないような状況に至っているのではないかと、私は感じています。ただ、そうすると教員個々の負担が非常に重くなってくるので、教員の負担を軽減するために、大学全体で学生さんを指導・支援するような組織を作っていかなければならないのではないかと考え、現在「学生支援センター」の構想を検討しているところです。

●専攻科の人数が今減っている状態ですけれども、教育マイスターも含めてしっかりと現場で実習等をさせていただいて、本当にありがとうございます。

○膨大な量の資料で学生に対して細かにいろんなことをしてくれているなど感じました。毎年幼稚園に学生が実習に来ております。その中で、数年前は単位取得だけのために来るような学生さんも多かったが、今では本当に保育士を目指して幼稚園や認定子ども園や保育園の先生になろうといふ意識の下で実習に来ている学生さんが多いのにすごく私は本当にうれしく思っております。先生方の情報共有しながら、あるいは学生が今どのような立場で何を目指しているかというその辺を明確につかみながら、一人一人の学生さんを大事にしながらかつ接しているのが、今日の報告で本当に十分感じたところでございます。

そう言いながら、人材不足ということが非常に悩ましいようなところでございます。私たちもいつも行政に言っているのは、何らかの形で高校生とか大学に入る前に保育士になる良さとか楽しさとか、そういうのをもっともっと伝えてもらいたい、ということで常に言っている中で、今、大分市では行政としては中学校、高等学校にも保育士になりませんかという PR をやっています。今は看護とか栄養とかあると思いますけど、そういう特殊な科目については、いち早く中学ぐらいから学生さんに、あるいは生徒さんに早めにどういう職業がどんな特徴があるのか教えていただけると、初等教育に限らずもっとも有効な大学の学生募集にも将来的につながっていくのかなと思いました。

- 大変貴重なご意見いただきましてありがとうございます。高校生につきましては募集段階で様々な形で PR 活動をしているところですが、中学生についての PR 活動はこれから検討させていただきたいと思います。

○私も同じく中学生ぐらいから PR 活動をお願いしたい。どういう進路をたどれば保育士になれるのかというのをいろいろな機関から出していただければいいのかなと思うのが先日、園を卒園した中学生が来て、「先生、高校はどこに行ったらいいの？ 大学はどこを目指したらいいの？」という質問をされた。この子たちは何か目標を持って今から学ぼうとしているんだと思った時に、先が見えるような何か高校や中学校から指導していただければありがたいかなと思っております。それと大分県保育連合会で新人研修会を 2 日間行いました。久しぶりの対面の研修だったんですけどもすごく静かな研修で、今まででしたらリトミックとかをするとすごく盛り上がっていたのがシーンとした感じだった。コロナ禍での学生生活でコミュニケーション不足を痛感した。今から先ほど課外活動と充実していくという話があったんですが、やはりコミュニケーションが取れるような大学全体の活動があっただけいいなと思い、それが子どもたちの今からの健全育成にもつながっていくのかなと思ひまして、お願いをしたいと思ひました。

- まずは中学校からというところは、できるだけ早い時期にということですが、入学の状況を面接の中などで聞くと、やはり中学校の時のインターンシップであったり、現場に出向いた時期が中学校・高校よりも前の時期にあったというところが、大きく進路選択に影響しているようです。その辺を踏まえながら、また協力をさせていただきながら、募集の段階での協力ということで、早い段階からの情報を投げかけていけたらなと思っております。それからコロナ禍の件ですけれども、私たちも本当にそのように感じているところで、この 4 月からは特に実践的な内容に力を入れて、研究会活動とか地域貢献活動などについても、これまでできなかったことに本当に力を入れながら進めているところです。

○別府大学短期大学部の留学の実績を教えてください。それともう一点は就職の件ですが、41 人が就職をしていないと書いてありますけれども、理由の記載がないが、「基本的に働きたくない」、「希望がかなわなかった」などで就職はしなかったということなんでしょうか。

- 短大については留学の実績はありませんが、大学はハワイ大学に 4 名ほどが留学しています。コロナ禍で海外渡航の規制が強くて活動できていないのが現状です。現在、留学体制の整備を進め

ているところで、特に韓国・中国への留学を活性化したいと思っています。また、英語圏である台湾・フィリピンも視野に入れて検討しているところです。

- 就職に関しては、キャリア支援センターに確認したところ、学生からの就職状況の回答がこなかった数も含まれており、回答の中にはフリーターと回答している人もいるとの補足説明がありました。

○卒業生の輩出について謝辞が述べられた。人材育成についてコロナ禍でのコミュニケーション不足のことについて、別に資料が配布され説明があった。また、難しいことだがスクラップにも取り組んでいただきたいとの指摘があった。

- 本学が送り出した卒業生に対する社会の評価が、大学の評価となると思います。人材育成については、人間関係が取れるよう指導することは大変重要な点ですが、コロナ禍の影響で指導が難しかった。講義で教えてできるようになるといったものではないので、サークル活動やボランティア活動等課外活動の場でコミュニケーション能力を身に付けてもらいたいと思っています。

○たくさんの資料の作成、栄養士会への理解について謝辞が述べられた。保育園に栄養士として就職したが、調理師として働いており、給料が低い。待遇がよくないと離職にもつながってきたりして、離職率はどうなのか知りたい。また、給食委託会社に就職して病院に配置されている学生もいるんですけども、そういう人たちも一応栄養士として就職したが、なかなか昇給しない傾向である。と栄養士を取り巻く現状が述べられた。また栄養士会員へ加入について説明と依頼があった。

- 栄養士の離職率のデータを用意していません。就職についてはおっしゃる通り募集は調理員で来ているけど、資格は栄養士が必ず要りますという求人、そしてその反対もあり、学生はエントリーするときちょっと躊躇しているところもあります。栄養士会の方でそういう働きを活用していただいて大変感謝しているところです。調理員として働いている栄養士の学生については、経験を積んでさらに管理栄養士を目指すよう励ましているところです。また、委託会社もおっしゃる通り、大変人数が多いです。就職する学生が委託会社に行く場合は、やはり病院が多いようにあります。病院の中では委託というのもの、やはり栄養士になっていくことを私たちが望んでおりますので、働きながら早いうちから勉強するようには言っております。労働状況については、委託の就職関係のマネージャーさんと連絡を取り合って学生の様子をうかがっている現状です。あとは栄養士会の加入につきましては、頻りにアナウンスをして、大学食物の中村先生と協力して呼びかけています。これからももっと呼びかけていただきたいなと思っております。

○資料の作成、県内の子ども園にたくさんの卒業生輩出、キャリアアップ研修会開催について謝辞が述べられた。質問として県外の方か志願者さんがどれくらいおられるのか、県内の学生が入ってくれるのは一番いいと思うが、それプラス県外の方々が県別府の地に来て後々定住していただくと人口増にもつながりますし、そういった意味でぜひこれだけの素晴らしい内容のことをされておりますので、ぜひ県外の方の受け入れを増やして欲しいなということと、ま

たもう1つは看護学部を創設されるということで、本当に素晴らしいなと思っていますが、今、保育園や子ども園にも看護師の方も勤務をしていますので、そういった意味では初等教育科があるということで、看護師の勉強、小児看護学というのもあると思うんですが、もっと掘り下げていただいて、子どもに関することももっと学んでいただいて、園とかに看護師の方も入って、子どもたちの安全に過ごせるようにしていきたいなと思っていますので、そういったことも考えていただければなと思っています。

- 入学者については、大学は県内が7割、県外が2割、海外が1割。短大はほぼ県内者となっています。看護師につきまして、先ほど少しお話がありましたけれども、今、いわゆる多職種連携が看護分野の主要な課題になっております。さまざまな形の連携、さまざまな分野の方々との連携をこれからも模索していくし、授業の中にもそういう要素を組み込んで行きたいと思っています。幼児分野というのは看護の分野にもあります。本学には幸いにして初等教育科がありますから、看護教育の中にそういった幼児教育を入れたり、幼児教育の中に看護教育のチームが入ったりというようなことは、これから可能だろうと思います。今後いろいろな連携を模索していきたいと思います。

○大分市では、保育士確保の取組というのを様々な形でやっておりまして、市内の施設に少しでも就職をしていただくために保育の「仕事セミナー」ということで毎年開催をさせていただいておりますけれども、その事業の立ち上げの時もご協力をいただいておりますし、毎年多くの方に参加をいただいて、この場を借りてお礼を申し上げたいと思います。

今日のご説明の中でも、就職率は90%を超えて、高い就職率を保っていて、素晴らしいなと思っていますが、一つ気になるのが先ほどもコロナ禍ということで、特に短期大学部の学生さんについては学生生活全ての期間がコロナ禍というような方もいらっしゃると思うんですけれども就職後にコロナの影響で日頃の学生生活が遅れずに就職後の状況に影響を及ぼしたとか。何かそういった状況がわかれば教えていただきたい。先ほど卒業生アンケートがどうも行われているということですのでもし、そうした状況がわかれば教えていただければと思います。

- アンケートをそれぞれの雇用主の方にお送りしまして、その中でいろんな状況を教えていただいているところです。今まだちょうどデータが来てまとめている最中ですが、その中で要するに先ほども挙がりましたが、離職率の問題があります。また、5年以内に離職した卒業生がどれくらいいるかというデータも上がってきております。その中でその理由についても記されていますので、その辺でコロナ禍の影響がどこまであるか、これからデータを見ながら精査していく必要があるかと思います。その辺の事情が分かりましたら、ご報告させていただきますので、今後ともご支援よろしく願いいたします。

(15時45分)

<閉会>

配布資料

- (1) 令和4年度別府大学短期大学部学長諮問会議議事録・・・・・・・・・・資料1
- (2) 令和5年度事業計画・・・・・・・・・・資料2
- (3) 令和5年度自己点検評価報告書・・・・・・・・・・資料3
- (4) 2022年度在学生の修学状況と入試制度について・・・・・・・・・・資料4
- (5) 別府大学「建学の精神」について・・・・・・・・・・資料5
- (6) 別府大学短期大学部教育に関する3つのポリシー・・・・・・・・・・資料6-1
別府大学短期大学部カリキュラムマップ・・・・・・・・・・資料6-2
ディプロマサプリメントについて・・・・・・・・・・資料6-3
- (7) 満足度調査報告書（令和3年度実施分）・・・・・・・・・・資料7-1
学生のサークル及び研究会活動・・・・・・・・・・資料7-2
- (8) 保護者のための就職ガイダンス（食物栄養科）・・・・・・・・・・資料8-1
保護者のための就職ガイダンス（初等教育科）・・・・・・・・・・資料8-2
- (9) 地域連携・社会貢献資料集・・・・・・・・・・資料9
- (10) 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」概要・・・・・・・・・・資料10-1
「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」に係る自己点検評価書・・・・・・・・・・資料10-2
- (11) 看護学部パンフレット・・・・・・・・・・資料11
- (12) 参考資料
 - ①大学案内2024
 - ②ニュースレター
 - ③『Be-News』
 - ④短期大学部食物栄養科令和5年度管理栄養士国家試験受験のための支援講座
 - ⑤認定絵本土養成講座チラシ
 - ⑥令和5年度別府大学短期大学部における大分県幼児教育センター（教育庁内）の養成及び委託に係る研修講座日程について